

OITA NEXT ATHLETE

—バントワリングを始めたきっかけは？

小学1年生のとき、姉と一緒にバトンのクラブ体験をしたのがきっかけです。そこに通っている子どもたちがバトンをくるくる回している姿をみて「カッコいい!」と思ってこの競技を始めました。

—普段はどんな練習を？

普段は週5回ほど練習しています。室内競技なんですけど、バトンを高く上げることもあるので、練習がない日は、外で練習することもありますね。

—この競技の魅力はなんですか？

自分の演技で見ている人を感動させられること。難易度の高い技が決まったとき、会場から拍手が起こるとうれしいです。

バントワリングにはいくつか種目があり、昨年8月に優勝したのは「ソロトワール^(※)」です。この種目は、約1分45秒の中ですべての勝敗が決まります。この短い時間のために、大会までの何十時間、何百時間も練習を積み重ねているんです。本番前はすごく緊張しますが、それを無駄にしたくないので、平常心を保つように心掛けています。

—昨年8月の世界大会を経験していかがでしたか？

初めて出場した世界大会は、参加した選手が過去最大規模だったそうです。とても刺激になりました。ほかの選手それぞれに良い点があって、技の速さや丁寧さなど、選手たちを通して、自分の改善点がより見えたので良かったです。

—今後の予定は？

もうすぐ、昨年優勝した世界大会につながる九州大会があります。今年からシニア部門での出場になるんですが、今まで以上に自分のレベルを上げていかないといけないな、と思っています。直したいところ、完成度をさらに高めたいところを、お世話になっているコーチのもとで整えていきたいと考えています。さらなる高みを目指して頑張ります。

※ソロトワール…バトン1本を使い、大きく分けて3種類の技を組み合わせ、その速さや正確性、ダイナミックさを競う種目

ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックの国内開催が迫り、一層盛り上がりを見せるスポーツ界。大分の地でキラリと光る若手アスリートを、シリーズで特集します!



バトン1本で魅了する演技を



▲バントワリングはバトンの技術だけでなく、柔軟性も大事。

◀昨年8月の世界大会での様子。



佐藤 史弥

年齢:18歳 身長:170cm

経歴:
2016年3月 第41回全日本バントワリング選手権大会 ソロトワール男子シニア部門6位
2017年3月 第42回全日本バントワリング選手権大会 ソロトワール男子ジュニア部門5位
8月 IBTFグランプリ大会 ソロトワール男子ジュニア部門優勝

表紙の
ことば

堀の奥に浮かび上がった、光り輝く天守の幻想的な姿。現在、大分城址公園では江戸時代にあった府内城の天守をイルミネーションで再現しています。このライトアップは2月14日(水)まで、毎日午後5時~10時の期間限定。今しか見ることのできない府内城を、ぜひお楽しみください!